

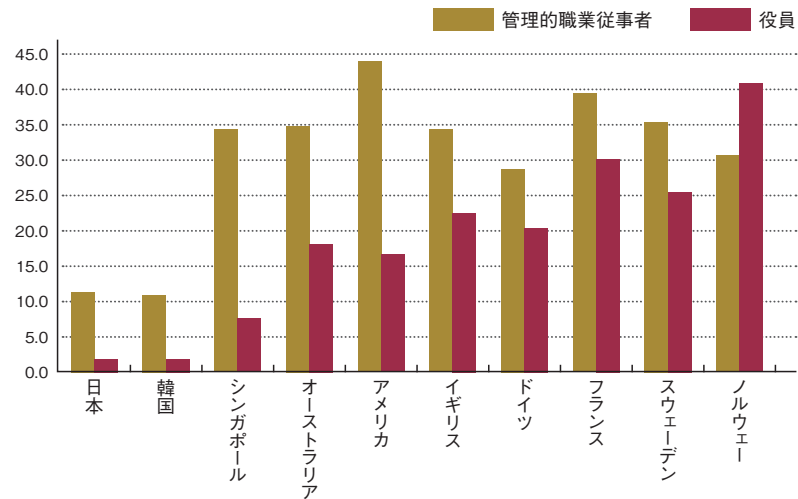
「なでしこ」な会社の作り方



ブリヂストンの事業所内保育施設「ころころ保育園」は都内最大規模の定員140人。広々とした芝生の園庭がある④ パートタイムの仕事として送迎するオランダ人男性。オランダでは、パートタイマーが給料体系や社会保障で正社員と差別されないよう法律で守られている (ADNL)



日本の役員・管理職の女性比率は先進国のなかでも最低水準



「女性管理職役員に占める女性比率の国際比較」の図。労働力調査(2013年、総務省)、データブック国際労働比較2014(労働政策研究・研究機構)を基に経済産業省作成。「管理的職業従事者」は、会社役員、課長相当職以上、管理的公務員などをいう。日本は2013年、その他の国は2012年のデータを使用

そもそも、日本は明らかに「女性活躍推進後進国」だ。全社員に占める女性の割合が42・8%(総務省調べ)に上る一方で、女性管理職比率は11・2%、役員比率は2.1%とそれぞれ先進国の平均を大きく下回る(右グラフ参照)。女性取締役比率でいえば、1.5%(ブルームバーグ・データ)とさらに低い。

このため政府も「企業の女性管理職比率を2020年までに3割に増やす」という「2030」(にいまるさんま)目標を掲げ、「女性活躍推進」を成長戦略の中核に位置付けた。

「なでしこ銘柄」は2012年度に、経済産業省と東京証券取引所が共同で女性活躍推進に積極的に取り組む企業を魅力ある銘柄として選定・紹介する事業として始まった。

中長期の企業価値が大事

2014年度の調査対象は、東証一部全上場会社1817社で、そのうち40社が「なでしこ銘柄」に選ばれた(下図)。

2014年度の調査では、女性活躍の状況に関する情報開示が進展。一次スクリーニングを通過した企業は571社と、12年度(185社)や13年度(384社)と比べて大幅に増加した。

「なでしこ銘柄」選定基準検討委員の一人、コモンズ投信の洪沢健会長は、「女性の活躍」という可視化が難しい指標の情報開示を企業に求めた意義は大きい」と話す。

「なでしこ銘柄」は東証が展開する「テーマ銘柄」の一つで、このほか「ESG」「特許価値」「健康経営銘柄」「アナリスト・レポート」「攻めのIT経営銘柄」の合計6種類ある。

「なでしこ銘柄」を担当する日本取引所グループ総合企画部の松尾琢己・調査グループ長は、「テーマ銘柄は、新しい切り口でより多くの人に株式投資に興味をもってもらうきっかけづくりとして始まった。マーケットをよりサステナブル(持続可能)にするには、短期的な企業収益を見るだけでなく、中長期的に企業の

上場企業40社が「なでしこ銘柄」に、KDDIや東レなど3年連続

企業名		業種		2012年度	2013年度	2014年度
大和ハウス工業	建設業					
積水ハウス	建設業					
カルビー	食料品					
サントリー食品インターナショナル	食料品					
東レ	繊維製品					
大王製紙	パルプ・紙					
花王	化学					
メック	化学					
中外製薬	医薬品					
JXホールディングス	石油・石炭製品					
ブリヂストン	ゴム製品					
TOTO	ガラス・土石製品					
ジェイエフイーホールディングス	鉄鋼					
住友金属鉱山	非鉄金属					
リーセルグループ	金属製品					
小松製作所	機械					
ダイキン工業	機械					
日立製作所	電気機器					
東芝	電気機器					
川崎重工業	輸送用機器					
日産自動車	輸送用機器					
ニコン	精密機器					
トッパン・フォームズ	その他製品					
大阪ガス	電気・ガス業					
東京急行電鉄	陸運業					
日本郵船	海運業					
日本航空	空運業					
KDDI	情報・通信業					
SCSK	情報・通信業					
丸紅	卸売業					
三井物産	卸売業					
ローソン	小売業					
ユニテッドアローズ	小売業					
りそなホールディングス	銀行業					
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業					
大和証券グループ本社	証券・商品先物取引業					
第一生命保険	保険業					
エヌ・ティ・ティ都市開発	不動産業					
ノバレーゼ	サービス業					
JPHホールディングス	サービス業					

2015年3月に発表された「なでしこ銘柄」40社。3年連続で選ばれたのは、東レ、住友金属鉱山、日産自動車、ニコン、東京急行電鉄、KDDIの6社。大和ハウス工業、TOTO、ユニテッドアローズなどが初めて選ばれた

出典:「平成26年度なでしこ銘柄発表レポート」(経済産業省、東京証券取引所)

女性活躍推進企業を選び、投資対象として紹介する「なでしこ銘柄」が多くの企業経営者の関心を集めている。株価が上がるという「ニンジン」の効果のほどはさておき、多くの企業で女性活躍推進の取り組みが始まったことは評価できる。だが、その取り組みも緒に就いたばかりだ。本当の意味で「なでしこ」な会社になるための戦略やノウハウをまとめた。

(森 撰||オルタナ編集長、吉田 広子||同副編集長、枝松麗、瀬戸内 千代||同編集委員、松田 慶子、栗田 路子||ブリュッセル、稲葉 霞 織||アムステルダム、岩澤 里美||チューリヒ、寺町 幸枝)